



東部町文化協会報

せせらぎ

第21号
平成14年12月1日

発行/東部町文化協会(TEL.62-3700)
印刷/東部プリント

30周年記念誌

あゆみ

2002年

東部町文化協会



東部町文化協会発足30周年記念事業
功労者表彰受賞者(敬称略)

部会名	氏名(地区)	部会名	氏名(地区)
会長	小林 進(本海野)	華道	寺島まさる(桜井)
会長	丸山 光夫(本海野)	手芸	小林知美興(金井)
会長	関 義豊(大石)	人形	岩下 止代(田中)
副会長	関 恒代(大石)	菊花	松澤 房視(東町)
副会長	小林 清枝(常田)	俳句	石井 補人(田中)
副会長	佐藤 利秋(田中)	陶芸	山崎 良徳(常田)
書道	柳澤喜代太(大石)	音楽	貢 甚一郎(常田)
彫刻	近喰 和夫(本海野)	繡手芸	山本 フジ(加沢)
舞踊	小松 久子(田中)	邦楽	佐藤 雄治(乙女平)
合唱	中村 新吾(田中)	川柳	荒木 正俊(東上田)

昭和四十八年に発足した東部町の文化協会は本年で三十周年を迎え、去る九月七日(土)、午後一時半からエッセイスト海老名香葉子さんの「泣いて、笑って、がんばって」と題する講演会が文化会館大ホールで、次いで会場を中央公民館に移して、三時半から記念式典が行われ、福島慎雄会長から協会の発展に尽くされた二十名の方に表彰状が授与されました。最後に祝賀会が盛大に行われました。

東部町文化協会創立三十周年記念

式典と海老名香葉子さんの

講演会が行われました

記念誌 あゆみ 発刊(写真右左)

記念誌「あゆみ」が同日発刊され、文化協会員全員に配布されました。主な内容は、三十年の回顧と、三十一部会二百十グループの紹介です。編集委員長 山岸一郎さんのはなし。「昨年十二月からとりかかり、半年以上かかりました。一番苦労したのは原稿の依頼です。五月いっぱい締切りだったので、その時点ではまだかなりの原稿が集まっていませんでしたが、皆様の御協力によって間にあいました」

文化協会のあゆみ

(13・12・14・11)

- 13年
 - 12・2・9 第8回炎群展
 - 1・5 第10回新春書き初め大会
 - 2・3 第10回邦楽部会発表会
 - 9 謡初大会
 - 23・24 いきいき生涯学習塾作品発表会
 - 3・1・3 第7回書道会員展
 - 3 ひな人形展
 - 15・21 第52回東部町美術会展
 - 17 第23回舞踊部会発表会
 - 24 第22回琴伝流大正琴発表会
 - 4・6 第9回東部町大田区交流開基大会
 - 14 第23回民謡部会発表会
 - 16 文化協会総会
 - 25 いきいき生涯学習塾開講式
 - 4・29・5・5 第7回香東会書展
 - 6・7・12 恵水会書作展
 - 7・28 第13回文化協会長杯囲碁大会
 - 8・25 第7回カラオケ部会発表会
 - 8・27・9・1 東部町美術会 神社仏閣を描く
 - 9・7 文化協会30周年記念式典
 - 9・14・16 からさく会作品展(レジャークラフト)
 - 9・22・27 ちぎり絵 柳寿会
 - 10・1・6 SFCいちやな作品展
 - 11・19 第20回TNS定期演奏会
 - 11・1・3 第19回東部町総合文化フェスティバル
 - 12・1 せせらぎ21号発行
- 14年
 - 8 東部町合唱祭

泣いて、笑って、がんばって

— 感動の二時間 — 海老名香葉子さん講演

私は昭和八年東京本所で生まれました。昭和二十七年に故林家三平と結婚いたしました。二男二女の母で、林家こぶ平は長男でございます。現在は身の上相談や本の執筆をしております、もう十六冊ほど出しました。亡くなりました三平から、幼い頃来ていた戸倉町のことをしょっちゅう聞かされておりました、月見草がとでもきれいだっただけでございます。ですから千曲川を見るときはとても感激いたしました。それにしても一時間半で東部町に着くとはびっくりいたしました。一番下の息子林家一平が今度、一年かかりましたが真打ちになり、先日、浅草の観音さまにお参りをいたしました。



戦時中の思い出ですが、父に梅の種の中には天神さまがいて、天神さまを食べると頭がよくなると聞かされておりましたが、たしかに食べたのでございますが、一向に変化はございません。幼い頃、よく母にいわれてお使いに行きましたが、親孝行だと褒められとても嬉しかったのを覚えております。今は親孝行という言葉さえ忘れられているようです。

戦争が始まり、私は沼津のおばの家に疎開いたしました。三月九日の夜、東京の方を見ておりましたら空が真っ赤でした。東京大空襲でした。翌日、本所深川は全滅したと聞きました。五日後、中学二年だった兄がやってきて、両親、祖母、兄二人、四歳の弟の全員が亡くなったと聞かされました。私は小学校五年でした。その後、石川県の穴水に移り、村の人たちにとっても親切にしてもらいましたが、終戦後、東京のおばの家に引き取られることになりました。東京は完全な焼野原で、本所深川に行ってみましたが、家の痕跡も残ってはいませんでした。

中学を中退いたしましたして近くの林家三平の家にお手伝いに行きました。とにかく一所懸命働きました。それで三平の母に気に入られました。私は姑に可愛がられ、姑とはとてもいいコンビだったように思います。三平が亡くなったとき、お弟子さんも大勢いて師匠のいない家になってしまいました。

第32回 菊花展受賞者

受賞者のみなさんは次のとおりです
(写真は一面左上)

東部町長杯	寺田 泰明
東部町公民館長杯	依田 敕
東部町議会議長杯	後藤 房子
J A信州うへだ農業組合長杯	披村 隆夫
東部町文化協会長杯	宮下 正之
東部町文化協会長杯	半田 栄
東部町教育委員長杯	岡本 愛子
八十二銀行田中支店長杯	竹内 進
上田信用金庫東部町支店長杯	荻原 延雄
東部町商工会長杯	荒井 君代
東部町商工会長杯	小林 孝子
菊花会会長杯	佐々木 芳夫
菊花会会長杯	長岡 政直
優 秀 賞	柵津小学校

第十一回 短詩型文学祭で 入賞された皆さん

<p>◆短歌の部</p> <p>町長賞 教育委員会賞 公民館長賞 文化協会長賞</p>	<p>◆俳句の部</p> <p>町長賞 教育委員会賞 公民館長賞 文化協会長賞</p>	<p>◆川柳の部</p> <p>町長賞 教育委員会賞 公民館長賞 文化協会長賞</p>
<p>◆現代詩の部</p> <p>町長賞 教育委員会賞 公民館長賞 文化協会長賞</p>	<p>唐沢志げ子 宮原 忠義 太田 継子 射手 伝太</p>	<p>神田 昭代 小林 嘉代 小林 久江 井澤津江</p>
<p>宮坂 春代 栗原 陽子 関崎八重子 山田由紀子</p>	<p>竹内 初江 荻原 金男 野本 清魚 小林郁二郎</p>	<p>入賞された皆さん</p>

グループ訪問

ピーターの会(英会話、文芸創作部会)

十月八日(火)の夜、中央公民館の視聴覚室に同会をお訪ねしました。いつもは文化会館第二会議室で夜八時から九時まで定例学習を行っているのですが、この日は講師のピーター・クーパーさん(東部中学AET)が自己紹介の意味もこめたビデオを見せるということで公民館になったのだそうです。ピーターさんはニューヨークの北のロードアイランド州出身のとても気さくな美青年で去年の九月から東部中学に勤務していらっしゃるということです。現在会員は八人で保科町長さんもうらっしゃいます。責任者の出浦洋三さんの話。「簡単な会

囲碁大会で入賞されたみなさん

第十三回「文化協会長杯」囲碁大会が七月二十八日東部町中央公民館で行われ、四十三名が参加しました。対戦は棋別別にA、B二組に分かれ、スイス方式五回戦で行われました。入賞者は次の皆さんでした。

A組(三段以上)

優勝 田中 政徳
準優勝 美斉津 桂
三位 小林 和夫

B組(二段以下)

優勝 佐藤 栄一
準優勝 手塚 宏
三位 金沢 良知

話を通じて英語圏の文化や風物を知ることが狙いです、希望者はどうぞ」



写真は文化会館で撮影

八装会(表具部会)



文化協会表具部会で、一つだけのサークルです。メンバーは八名、毎月第一日曜日に活動しているとのことでした。
梅雨明け間近い、七

月十六日の午後、八装会の皆さんを中央公民館に訪ねました。

講堂のテーブルに書や絵を広げ、それぞれの行程に打ち込んでいらっしゃいました。自分で描いた水墨画を表装されていたのは紅一点の土屋寿美子さん。「馬子にも衣装で、下手な絵も着物を着せると少しは引き立ちます」と謙遜されていましたが、まだ入会三ヶ月というのになかなかの。自分の手で作品を作り上げていく喜びが伝わってきました。

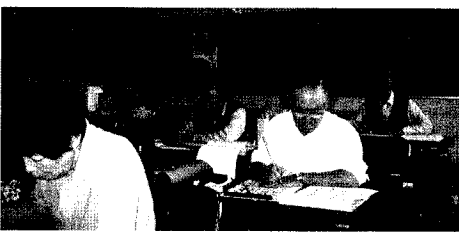
指導されているのは寺島止樹先生。「皆さんとても熱心で雰囲気もいいので、私も楽しみながらやっています」と笑顔でお話して下さいました。

春園会B(書道部会)

指導者の小林寅吉先生の雅号「春園」を会の名前にしている二つのグルーブのうちの一つです。

毎月第一、第三日曜日の午後、中央公民館で勉強会を続けています。

メンバーはそれぞれ別のペースで、段位に挑戦する人、般若心経を書き上げるためひたすら細筆を動かす人、と目標を決めて励んでいらっしゃいます。



さんが、家で書いて来られた般若心経を広げて見せて下さいました。「兄弟全員に自分の書いたものを掛け軸にして分けてやりたかったので頑張って練習している」と話して下さいました。残暑の中に墨の香りと静かな緊張が流れるひとときでした。

東部川柳吟社(川柳部会)

毎月一回、第一日曜日の午後、主に隣保会館を会場に勉強会を行っています。

宿題が三題、そして当日の席題が一題、計四題に二句ずつ、計八句を投句してそれぞれ選を合います。

十月四日の勉強会に訪問させていただきました。指導は佐藤曙光先生。席題が出されてから二句を作り上げるまでの数十分、静かで真剣な時間が流れます。

いかにも川柳の会らしく笑いのある和気あいあいの中にも、中身の濃い勉強会が十四名のメンバーによって続けられました。

丸山孔男さんは入会九年目。「読んだ人がちよつと考えるようなものを」と心がけて作るそうです。

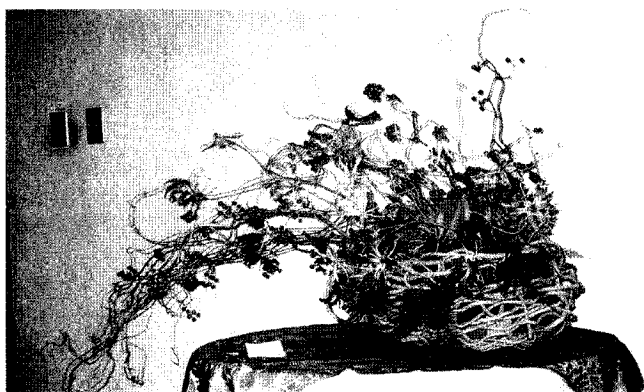
そこで一句「しなやかな鞭も時には人を切り」

鈍孔



第19回 総合文化フェスティバル

11月1日～3日 中央公民館



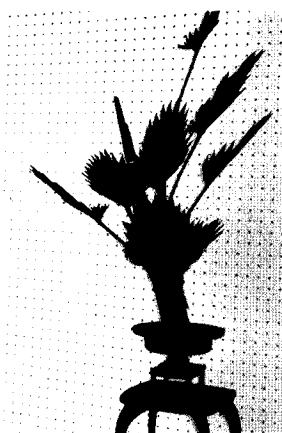
フラワーアレンジメント



水墨画



中央公民館入口



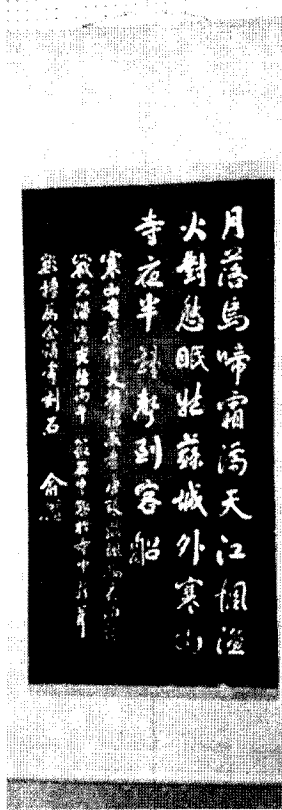
華道

まず、左側の水墨画から見ました。ここは文字通り墨絵の静かな世界です。次はフラワーアレンジメント、西洋風生け花の、とてもきれいな部屋です。隣は表具、苦心の作品が並んでいます。次は籐手芸、各種の籠、コーナーも見忘えがありました。一番奥の和室に進むと、人形展です。豪華な日本人形がずらりと並び、圧倒されます。パン粘土と押し花の部屋、押し花で絵画化した作品はすばらしいものです。木彫り、こゝろは、霧の参戦という作品に目を奪われました。隣はレザークラフトで鞆などの傑作が並んでいます。陶芸、小物から大形の花瓶まで素晴らしい作品、用途不明のものにも目を惹かれました。ちぎり絵では、里の冬景色という作品が目につきました。写真、さ



ちぎり絵

けびという鶏の一瞬を捕らえた作品はユーモラス、次は文芸で、大きな板に句を彫ったものもあります。手芸とパッチワークですが海野宿という作品がありました。大ホールの生け花は豪華絢爛の一語に尽きます。書道、ここは作品の量と多彩性と質に圧倒されます。最後は絵画で量感のある作品に引きつけられました。ちいさがたの家の方々が車椅子で来られて熱心に鑑賞されていました。それにしても静かで、ほとんど話し声はしません。寂しいくらいです。なにかが不足しているのではないか。そうコミュニケーションです。説明というものが無いのです。たとえば、町政研究会といったものがあって、見学者に説明するといった風景があつたらどうかと思いました。



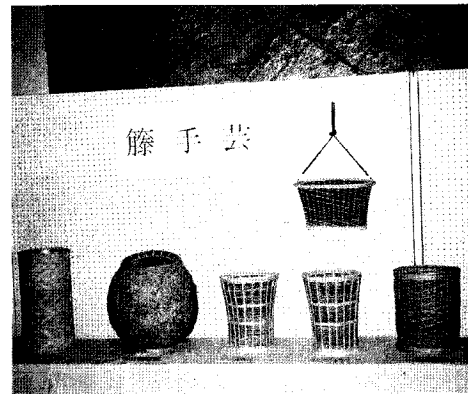
表具



ちいさがたの家のみなさん



身障者コーナー



籐手芸



押し花



パンフラワー



人形



書道

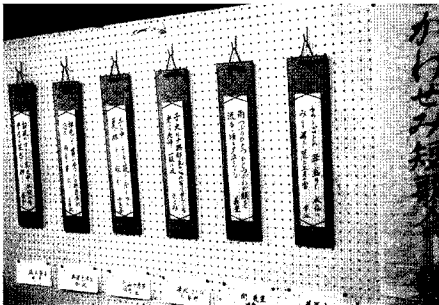


パッチワーク

木彫



写真



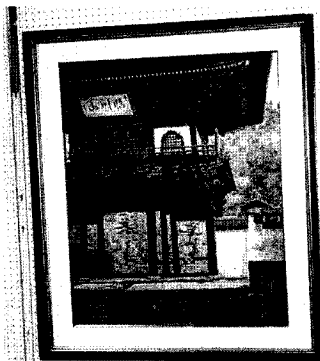
文芸



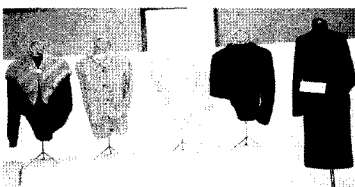
陶芸



レザークラフト



絵画



手芸



茶道



書道

グループ訪問

みんなでABC

(幼児対象英会話、文芸創作部会)

十月二十四日の午後、中央公民館三階和室に同会をお訪ねしました。ハロウィンの日ということできざまな服装をしたお子さまが集まっていました。責任者の滝沢幸代さんは、「今日は大勢来ていますが、会員は七名で、必ず保護者同伴で、保護者も一緒に、歌を歌ったり、遊戯をしたり、ゲームをしたりします。毎週木曜日の午後三時四十五分から四時半まで、遊びながら自然に英語を学んでいます」と話されました。挨拶、お礼の言葉、名前は、何々です、今日は元気ですか、はい、元気です、と、英語ですらすらと応じていました。先生は日本人の上田の小市はるひ先生です。



東部町郷土史研究会(郷土史部会)

郷土史部会はこの研究会だけです。十月十五日(火)、部会長の瀬田忠雄さんを鞍掛のお宅に訪ねました。「昭和四十七年に発足したのですが、五年前に郷土史部会として再発足しました。年二回、春と秋に近隣の史跡を訪ね、今年の春は、別所へ、秋は長門町へ行きました。また年一回、総会を開いており、今年三月四日に開き、桜井松夫先生に「海野大商人長門殿の雑談と海野宿」という題で講演してもらいました。現在の会員は二十四名です。みなそれぞれ、たとえば東山道の研究といった研究会に属して、この会は総まとめといったものがあります。私自身は東山道は東部町のどこを通っていたか研究したいと思っています。小中高生にも入ってもらいたいですね」と話されました。



と話を聞きました。

岳照流東部支部(詩吟部会)

岳照流は小諸の故高橋岳照先生がはじめられた詩吟の流派ですが、現在は詩吟十段の阿部龍照先生が東部支部六教場を指導されております。その一つ、別府



教場を去る八月二十一日お訪ねしました。毎週、第一と第三水曜日の夜、八時から九時半まで練習しているとのこと。前は大勢でしたが、今は三名だそうです。責任者の阿部美恵子さんは、声を聞けば身体の調子分かるし、漢詩から風景をイメージして、そのイメージを感情をこめて声の強弱によつて表現するのが詩吟だとおっしゃっていました。興味のある方、入会して下さいとのことでした。

藤やなぎ会(華道部会)

九月三十日(月)中央公民館へ同会を訪ねました。会員は八名。先生は、細山娥子先生で松藤会現代華です。生け終わった後で一人一人の活け花を先生がスケッチして渡しておられました。記憶に残す事が出来てとてもいいとのことでした。夜、月に二回(月)のおけいこで、女性ですから余り遅くならない様に気を付けているそうです。平均年齢は、皆さん若く、お勤めの婦りにという人が半分以上でした。



女性ですから余り遅くならない様に気を付けているそうです。平均年齢は、皆さん若く、お勤めの婦りにという人が半分以上でした。

柳姿会(舞踊部会)

十月九日(水)、田沢公民館に同会を訪ねました。月三回夜八時〜九時まで練習しているそうです。会員の小林アヤ子さんは、皆三十年來の踊りの人生を過ごしたメン

バーです。現在の先生、西川小扇柳さんになつてからは八年目です。発表会は年一度三月にサンテラスで行っています。まとまりのある会です。楽しい、いい汗をかいて、頭の体操にもなりストレス解消になります。女性としていつまでも若く、美しりたいと思います。」と話されました。



楽しい、いい汗をかいて、頭の体操にもなりストレス解消になります。女性としていつまでも若く、美しりたいと思います。」と話されました。

乙女フォークダンス愛好会A (ダンス部会)

八月二十九日の夜、乙女公民館に表記の会を訪問しました。毎週木曜日の夜七時半から九時半まで同公民館で練習しているとのこと。服装は手作りから全国大会のとき求めたものまでさまざま、さながらメルヘンの国に来たようでした。一回の練習で世界の曲を約二十曲踊るそうです。代表の高藤幸子さんは、踊りながら世界のさまざまな国のことがわかり外国の人とも気軽に交流していると話され、興味のある方は大歓迎で、ぜひ入会いただいで、フォークダンスの良さを知って欲しい、とのことでした。



東部町の住民は文化協会をどうしているか

文化協会も本年創立三十周年を迎えましたが会員約千八百人で有権者数一万九千五百人からみれば一割以下です。そこで町民の主として文化協会に入会していらない方に次の順で質問し答えて頂きました。

一、お仕事。二、東部町に住んでどのくらいですか。三、なにか文化的な活動に関心をお持ちですか。四、文化協会をご存知ですか。五、文化協会についてご存知のことがあったらあげて下さい。六、文化協会に興味がありますか。七、将来入会することがあると思いますか。八、文化協会についてご意見をお聞かせ下さい。

坂口 富雄さん（六五、日向が丘）

今は仕事はしておりません。かつての職業はまあ会社員、職種は工員です。東部町に住んでから三十三年かな。興味のあることというところ、いろいろな問題を考えることですね。考えがまとまったら書きたいと思っています。前に「雑記帳」という本を出したら、小宮山量平さんが「週刊上田」で紹介してくれました。文化協会はもちろん聞いたことはありますが、意識したことはないですね。したがって興味ありません。人といっしょに何かやるよりも、独りの方がいいですね。

竹内 美知子さん（五十代、栗林）

仕事は、販売関係のパートをしています。東部町に住んで、25年程になります。今、興味があるのは、ハーブですね。それも出来ることなら小型の竖琴で、映画「ピルマ

の竖琴”に出てきたようなのなんですよ。

文化協会は、以前、入会していたこともありましたが、もちろん知っています。沢山の方々が入会されて、受講なさっていますね。でも、夜の講座が一寸少ないように感じています。いろいろな楽器を手づくりしたり、演奏したり出来る講座があると嬉しいですね。又、初心者ばかりでなく、中級、上級者の為の講座等も受講料をおさえて、お願いできたらと虫のいいことを、文化協会の「スネ」をかじる思いで期待しています。30周年、おめでと〜ございます。

菅原 勝雄さん（六六、乙女平）

現在は仕事はしていませんが、ずっと高校の教員をやっていました。東部町に住んでから三十五年ぐらいですかね。趣味というところ、陶芸をずっとやってきました。小諸市内のギャラリーや郵便局などで個展や団体展を開いています。文化協会はもちろん知っています。中央公民館で展示会を開いたり、それぞれのグループの活動も活発なようですね。文化協会への入会も考えたことはありますが、私自身、陶芸教室を開いていますので、個人でどこかのグループに加入することは考えていません。入るなら、グループ加入ということですが、グループ加入の方法を研究したことはありません。文化協会は新たなグループを立ち上げる援助をするとか、施設を広く町民に平等に開放するなどの活動もしてほしいと思います。

渋谷万里子さん（五五、本海野）

仕事は英語の講師をしています。東部町

に住んでから二十五年がたちました。趣味はハイキング、バードウォッチング、家庭菜園、音楽鑑賞などです。文化協会のことは知っています。毎年、機関紙の「せせらぎ」を拝見しています。いろいろな団体があって活発に活動されているようですね。多くの方は参加したいと思ってもゆとりがないんじゃないでしょうか。私の場合は生涯学習の講座に出たことがある程度です。体育協会に入っていたときはすぐ発表ということになってしまい、もっと落ち着いて練習できればいいのに、と思いました。今、孫の面倒も見ていますが、いざれ時間の余裕ができれば、文化協会に参加したいと思っています。その場合、発表会は希望者というのがいいと思います。規制がゆるやかな会がいいですね。

竹内 邦彦さん（六四、大川）

仕事は農業ですが、町会議員もやっています。東部町には生まれたときから住んでいます。趣味ですが、若い頃は和の「やまびこ合唱団」に入っていました。文化協会にももちろん知っています。父も盆栽、郷土史、表具のグループに入っていました。私自身は囲碁の会「棋道」の会員ですが、和の会には出ていますが、ここところずっと町の会には出ておりません。要望ということですが、文化協会に限らないのですが、町民のみならず町の現状、将来についてあつての文化協会ですから。たとえば合併について、町民からの意見はほとんどない、と言っているくらいです。やはりそういう勉強をする機会がないからだと思います。町政の勉強をする会があつてもいいのではないのでしょうか。

6ページからつづく

東部民謡愛好会(民謡部会)

十月十日東上田公民館に同会を訪問しました。責任者は船田利明さんと会員は、八名だとのこと。第二木曜日に東上田公民館で練習しているそうです。みな十年から三十年のベテランメンバーでした。声を出して歌う事は、健康の源だとのこと。先生は、北御牧の依田先生。発表会は、毎年四月の第二日曜日と決まっていますと話して下さいました。



東部町美術会(絵画部会)

会長 萩原芳雄さん。会員数三十二名。毎年八月に企画展をしています。今年は、「神社仏閣を描く」をテーマとして、八月二十七日、九月一日まで文化会館で展覧会をしました。近在のお寺や神社を改めて見つめ直す事が出来、なかなかの好評でした。

神社仏閣を描く

会期 平成14年8月27日(火)～31日(日)まで
時間 午前9時～午後5時まで 最終日の9月1日は

柳沢 良さん(常田)

東部町に住んで十六年になります。現在町役場に臨時職員として勤務しています。文化協会の活動としては、合唱やTNSジャズオーケストラの発表などを見せていただいています。もう少し時間のゆとりができれば、書道習ってみたいと日頃から考えています。文化協会の活動は自分の趣味を生かした勉強ができることや地域の多くの方々とふれ合うことができ、それが生きがいにもなるという意味で、とてもすばらしいと思います。

桜井 芳孝さん(奈良原)

東部町奈良原に窯を作って二十五年位です。年に一度窯をたき、一五〇〇個位入ります。文化協会の指導はしていませんが小学生にボランテアで陶芸を教えていても楽しいです。文化協会には、かわったことがあります。文化フェスティバルは、毎回見させてもらっています。



写真SFCの
第6回ちいさなちいさな写真展
10月1日～6日(文化会館)

荻原 春代さん(常田)

東部町在住三十六年です。文化協会には以前入会していました。現在は、休会中ですが講座も増加し、利用したい教室を予約するのがなかなか難しいです。文化協会の加入者も増えている事も、困っているかと思えます。又、文化展の際の搬入、搬出も駐車場が狭すぎると思っています。

長岡か津子さん(大石)

この春退職し現在は主婦として過ごしております。この地に住み二十七年間になります。自分の教養を高めたり心の安らぎを覚える事に関心があり、文化協会がどのような活動をしているのかも興味があります。これから勉強をしてその上で入会するかどうかを決めたいと思います。三十周年の長い継続を尊敬しております。

関 巨子さん(伊勢原)

毎日、保育士として子供達と接しています。東部町に住んで十五年になります。文化協会の活動では、絵画、俳句、合唱、人形製作、はり絵、押し花等に関心、興味があります。昨年、文化祭を見せていただき、力作や努力の成果、発想のすばらしさ等に感心しました。いつになるかわかりませんが、私も入会

第八回「炎(ほむら)展」

平成十三年十二月二日から八日まで文化会館展示室で「炎展」が開かれました。これは陶芸部会の「炎群 創る」の会の

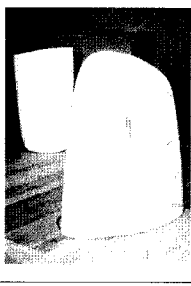
をお願いすることがあると思います。しかし私のように、仕事や子育てに関わっていると、希望があってもなかなか現実的にはむずかしいです。二、三年前に公民館の生涯学習で、夜、半年間押し花勉強に通いましたが、大変良い勉強ができた仕事に役立っています。子育ての世代や若い人にも利用しやすい運営について、難しい面もあるかとは思いますが、検討していただきたいと思っています。

平成十三年度 東部町合唱祭

平成十三年東部町合唱祭が十二月八日夜文化会館大ホールで行われました。くるみ幼稚園の園児のみなさんの合唱で幕があき、十二の団体のみなさまのすばらしい熱唱が続きました。曲も十二月にふさわしいものを選んだと、部会長 黒柳 隆雄さんが話されました。



展示会です。代表者は杉崎信夫さん。



平成十四年度役員研修会

10月3日、福島会長以下25名、恒例の研修に小布施方面へ行き、池田満寿夫美術館、中島千波美術館、高井鴻山記念館、北斎館と見学しました。



編集後記

二年間でいろいろと貴重な経験をさせて頂きました。清野 竜 多くの部会の発表を心を込めて見せていただきました。後藤 通子 生き生きと生活されている多くの方に お会いできたことに感謝しています。

取材を通し多くの方にお会い出来その姿勢に心が打たれました。栗原 陽子 丸山千恵子

3月3日
ひなまつり人形展が
ありました。

